

令和２年度病床機能再編支援補助金を申請予定の医療機関（仙台区域）の事業計画（案）について

（１）医療機能の分化・連携に必要な病床削減支援

医療機関名	病床削減 <sup>前</sup> の稼働病床数(A)		事業対象となる削減病床数 (B)		病床削減 <sup>後</sup> の許可病床数 (A)-(B)		病床削減に係る方針・考え方
特定医療法人 白嶺会仙台整形 外科病院	高度急性期	0	高度急性期	0	高度急性期	0	宮城県内で過剰となっている急性期病床を削減し、年々増加する医療費削減に貢献したい。 当院の回復期病棟では、在院日数が急性期病棟より相当長く、個室希望の患者も多いが、現在対応できていない状況である。そのため4床室を個室に変更し、患者ニーズに応えるとともに、質の高い医療提供体制を築きたい。回復期病床の6床削減を余儀なくされるが、年々高まる患者の個室ニーズに応えるためには、やむを得ない措置だと考える。 急性期病棟、回復期病棟とも新たに病床から仮眠室、倉庫を整備、スムーズな病棟運営と採用が非常に困難な看護職員の環境改善を図り、看護職員の離職防止と定着の促進に努める。
	急性期	125	急性期	▲27	急性期	98	
	慢性期	0	慢性期	0	慢性期	0	
	(参考)						
	回復期	54	回復期	6	回復期	48	
	休棟等	0					
	合計	179	合計(高+急+慢)	▲27	合計	146	
独立行政法人 国立病院機構 仙台西多賀病院	高度急性期	0	高度急性期	0	高度急性期	0	2019/9/26 厚生労働省が公表した公的医療機関の再編対象病院に当院が含まれており、2020/9 迄に検討するよう要請がされ、院内で地域医療構想の実現へ向け検討を行い、急性期病棟 2 ヶ病棟 90 床（整形外科病棟）から 1 ヶ病棟 50 床とし、40 床の削減を行う。 対象とする整形外科は、脊椎外科分野手術については知名度及び評価も高く、年間の手術件数は約 600 件に及んでいるが、医療技術の進歩により開窓術から内視鏡手術などの低侵襲手術への移行が進み、患者さんの身体的負担が少なく早期の退院が可能となったため、平均在院日数が短縮され在院患者数が減少している現状にある。そのため、1 ヶ病棟 50 床としても、医療の質を落とすことなく、地域医療構想の実現が可能と判断した。 なお、公表時は病棟改修工事に着手し始めたばかりであったため、急性期 2 ヶ病棟 90 床から急性期 1 ヶ病棟 50 床にする設計変更を行った。現在、工事継続中のため、工事完了見込みの令和 3 年 2 月上旬に 1 ヶ病棟 40 床を削減する。(医療法の届出も工事完了に併せて行う予定である。)
	急性期	90	急性期	▲40	急性期	50	
	慢性期	290	慢性期	0	慢性期	290	
	(参考)						
	回復期	100	回復期	0	回復期	100	
	休棟等	0					
	合計	480	合計(高+急+慢)	▲40	合計	440	

（２）医療機能の分化・連携に必要な医療機関統合支援

該当医療機関なし

（３）病院の債務整理に必要な借入資金に対する支援

該当医療機関なし